

館報



9月号

やまがた

No. 785

令和3年
(2021年)



※表紙の写真は撮影のためマスクを外してもらっています。

品質を追求して

ゆきもと
山口 千元さん (小坂)

地元のコンクリート会社に勤めて6年目となる千元さん。

取材に訪れたこの日は、コンクリート製品を型枠から外す作業工程を真剣な眼差しで行っていました。「実際に製品が使われているところを見ると、もっと良い物を作りたいと意欲が湧いてきます」と話してくれました。

(8月21日 株式会社オーイケにて)

働姿

役立つ外来種とやっかいな? 在来種!?

「アカアの会」代表 上條さんに聞いてきました

皆さん、「外来種」と聞いたことがあると思います。何のことかご存じですか? もともとはその地域に生息していなかったのに、人間の活動によって他の地域から持ち込まれ、生息したものを指すそうです。山形村でも『アレチウリ』が外来植物の代表格でもありますが、今回は身近で皆さんの生活にも関わりのある外来植物や迷惑な在来植物について、植物に詳しい「アカアの会」代表の上條一則さん(下竹田)にお話を伺ってみました。



(上條さん談)

外来種と言うと悪者のように感じますが、『クローバー(シロツメクサ)』や『レンゲソウ(ゲンゲ)』など馴染み深いものや、『スイカ』や『ジャガイモ』など生活に欠かせないものもあります。『アレチウリ』は困りものですが、在来種でも『グズ』のような手強い

ものも存在し、これまた困ったものなのです。

『アカアの会』でビオトープの管理を始めて20年になり

ますが、抜いても刈つても『ヒメジオン』は毎年花をつけ、在来種の葦類や『カラスノエンドウ』にも手を焼いています。外来種にしてみれば、「勝手に連れてこられただけなのに」と言っているかもしれませんが、しかし外来種の侵入により、以前はどこにでもあった野花などの植物が侵され、それにより昆虫や小魚も村から次第に姿を消していくのは忍びないです。とお話してくださいました。

外来種を絶やすのは難しいですが、私たち一人ひとりの努力によって、これ以上増やさず、そして少なくしていければいいと思っていました。



ヒメジオン



クローバー

アレチウリを退治せよ!

YAMAGATA 環境プロジェクトI

7月17日(土)、YAMAGATA 環境プロジェクトI「アレチウリ駆除活動」が実施されました。同プロジェクトは村が設けた駆除月間(7月)と環境学習を兼ねた取り組みです。区の役員、議員などを中心に関わり合わせたのは約20名。はじめに関わり住民課の中川俊彦課長から『アレチウリ』の生態と駆除方法のレクチャーを受け、今回の実施エリアである東原(松本市との境界付近)に向かいました。



水路の土手には大きな葉を広げた『アレチウリ』が密生していて、参加者はそれを根こそぎ引き抜いて袋に詰めていきました。作業は約1時間で終了。役場に帰った参加者は第2部「アレチウリを食べてみよう。」に進み、職員が準備した『アレチウリ料理』を試食しました(食用に適すのは新芽と

若い葉の部分だけです) 食べてみようという方はご注意ください。ちなみに実は鋭い棘に覆われていて食べられません。味に癖は無いものの、葉にザラつきがあるため調理は下処理が大変とのことでした。

この日駆除できた『アレチウリ』は430kgでした。この活動を機に『アレチウリ』に関心を持っていただき駆除活動が進むことを期待します。

天候不良のため延期となっていた、YAMAGATA 環境プロジェクトII「ずく出して、秋の大河川清掃」参加者募集!
日時 令和3年10月9日(土) 午前9時~正午
※小雨決行

内容 村内河川とその河岸沿いのごみ拾い
対象者 小学校高学年(保護者同伴)以上の方
※村外の場合は近隣市村に限る。

申込 役場住民課
電話 ☎0263-98-3112
メール kanky@vil.yamagatanagano.jp
申込フォーム 下のQRコードから



申込期限 令和3年9月30日(木)

山すそ

外来生物と言われて魚や獣類を思い浮かべる人は多いと思うが、植物にも特定外来生物指定があり、『アレチウリ』はその一つだ。しかし、さらに深刻な問題を起こすであろう植物が幾つか存在していて、ここでは地球史上最悪と比喩される侵略的種を紹介したい。▼主に西日本の21府県で猛威を振るっているのが『ナガエツルノゲイトウ』だ。水草であるにも関わらず乾燥に極めて強く、淡水植物なのに耐塩性が強い、驚異的な環境適応能力と繁殖力を持ち、さらに陸生も可能で、僅かな茎・根の残骸から繁殖可能なため、陸上に定着してしまうと根絶は極めて難しい。今、そんな植物が日本に定着しはじめて

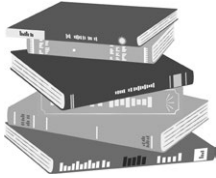
いる。長野県ではまだ確認されていないが旅行などで絶対に持ち帰ってはいけない植物である▼美しい里山を今後守っていくためには、むやみに生き物や植物を野に放たないモラルと、道端で変わった植物を見かけたり異変を察知したら放置しないで役場に報告するなどの地域の目が重要になってくると思う。

図書館からのお知らせ 募集しています

*リサイクルブック

図書館まつりでリサイクルブックを実施します。図書館の除籍本、保存期限切れの雑誌の他、皆さんから提供していただいた本を来場者に差し上げます。

リサイクルブックとして提供していただける本を集めています。ご家庭に譲っていただける本がありましたら、10月20日(水)までに図書館までお持ちください。



山形村図書館 ☎0263-98-3155

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館より

BOOK No.54

編集＝山形村図書館

山形村図書館祝10周年記念 図書館まつり開催迫る！

来たる10月24日(日)に10周年記念図書館まつりをトレーニングセンターで開催します。メインは『わにわに』シリーズでおなじみの絵本作家、山口マオさんの講演会&ワークショップ。他にも楽しい企画が盛りだくさんです。

一部をご紹介しますと…

『山形村図書館の歴史』展、利用者の方々におすすめいただいた本のメッセージで壁面を飾る『四面書架』、絵本の表紙を使ったポチ袋や、消しゴムはんこのブックカバー作りのワークショップ作品



ワークショップ作品

ワークショップ、リサイクルブックなど。ワクワクがてんこ盛りのまつりです。

しかし、原稿を書いている現在は新型コロナウイルス感染拡大の真つ只中。開催は9月30日(木)の状況によって決定するという、綱渡りのような状況で準備を進めています。

開催が決定しましたら、ポスター、チラシ、ホームページなどで情報を発信します。図書館情報にご注目ください。

図書館まつり実行委員会より

※8月1日(日)から販売した図書館10周年記念バッグは1ヶ月足らずで完売しました。お問い合わせが

せあがりありがとうございます。厚手のキャンバス地で本を10冊入れてもびくともしない丈夫さが好評でした。

引き続き、エコバッグとしても活用できる薄手タイプを500円というお求めやすい価格で販売しています。こちらもぜひいかがでしょうか。

※利用者みなさんの、おすすめ本を手にした写真で壁面を飾る『四面書架』を準備しています。

はにかみながら写真に収まる小学生、「顔出しNGだからねー」と本で隠して映る人も(もちろんそれもOKです)。

呼びかけに快く応えてくださ

り、ありがとうございます。目標120人！引き続き募集中です。

夏休みの図書館 子どもたちで

おいに賑わう

お昼を食べ終わると2階からドヤドヤ：児童館利用の子どもたちが図書館に来てくれます。

「カードないです」

「名前を借りていきまーす」

「うーんと怖いおはなしある？」

「このDVD予約してくださいー」

と矢継ぎ早に声がかかるので、昼休憩で一人しかいない司書はてんやわんや。

2階組が帰ると入れ替わりにふれあい組がやってきて、図書館を満喫していきます。

図書館からも

お出かけして、読み聞かせを楽しんでもらう機会もありました。

毎日の図書館通いで、図書館が親しい場所になってくれた子が増え、うれしい夏休みでした。

一方学習室は静まり返っていて、誰もいないのかと思いきや…

中高生で満室。コロナ対策で作った衝立が、集中できると好評でした。宿題がはかどったことでしょう。消しゴムかす入れに頑張りの跡がたっぷり残されていました。



BOOK 54 新着本

〈おすすめ新着本紹介〉

『博物館のバックヤードを 探検しよう!』

DK社編(河出書房新社)

ふだん目にするのではない博物館の仕事を、写真をもとに使い、興味深く紹介しています。世界の博物館の裏側を覗いてみましょう。



『特別報道写真集 東京オリンピック2020』

(信濃毎日新聞社)

緊急事態宣言が発令され、反対する世論もある中で開催されたオリンピックでした。後世に記録として残る1冊だと思えます。



『はたらくるまかせとけ』

三浦太郎(偕成社)

「はこんでください」

「まかせとけ」のかけ声

で、お互いに協力しながら仕事をやる車たち

を紹介する赤ちゃん絵本。車好きが喜んでくれそうです。



『猫にいいこと大全』

茂木千恵(主婦の友社)

最新の研究・情報を踏まえ、猫の生活、飼い主とのコミュニケーションなど、「猫にいいこと」をギュッとまとめた一冊です。猫好きはぜひ一読を。



山形村 災害

7月。館報編集部では、村民の皆さんに当時の様子や状況や避難所での写真とともにお伝えします。

②穴観音 土砂崩れ(上竹田)



写真提供:役場産業振興課

①消防団 土嚢積み作業(下大池)
どこの



写真提供:消防団

③林道堂ヶ入線 土砂崩れ



写真提供:役場産業振興課

④倒木被害(小坂)



写真提供:館報読者



村内の
被害状況

時系列

- 8月14日(土)**
 - 9:00～ 消防団が順次警戒にあたる
 - 9:17 山形村に大雨警報が発表
 - 13:00 第1回災害警戒本部会議開催
 - 13:14 山形村に洪水警報発表
 - 16:20 第1回災害対策本部会議開催
 - 17:00 トレセン体育館に避難所開設
 - 17:55 1組目の避難者がトレセン到着
 - 20:05 山形村に土砂災害警戒情報発表
警戒レベル4(危険な場所から全員避難)発表
 - 21:58 穴観音で土砂崩れが起きたと連絡あり
- 8月15日(日)**
 - 8:53 避難者全員(4組14人)が帰宅
 - 13:00 第2回災害対策本部会議
 - 13:30 トレセン体育館の避難所一時閉鎖
 - 16:50 トレセン体育館の避難所閉鎖
- 8月18日(水)**
 - 16:00 災害警戒本部が解散される

農作物の被害に遺憾

50年以上、農業に携わっているが、8月中旬にこんな大雨が降ったのは初めて。収穫の最盛期に畑が浸水して、農家はみんな辛い思いをしているし、これからも大変だと思う。



小坂/男性



畑の土が流されて露出した長いも

農業被害額

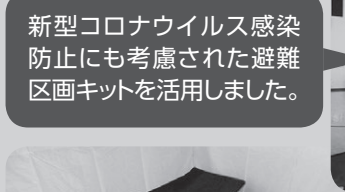
(役場産業振興課調べ)

- ・長いも : 2,309万4千円
- ・スイカ : 476万3千円
- 合計 : 2,785万7千円

トレーニングセンター体育館が 初めて避難所として設営されました



体育館入口に設置された受付。新型コロナウイルス感染対策で体調確認・検温を実施しました。



新型コロナウイルス感染防止にも考慮された避難区分画キットを活用しました。



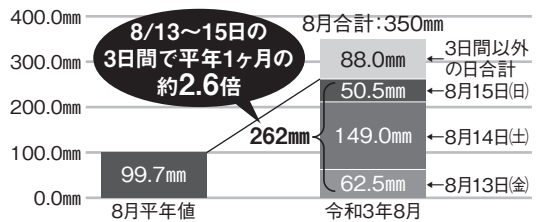
各区分画には簡易ベッドやアルミ毛布などが配置されていました。

写真提供：教育委員会

令和3年8月 大雨

近年にない規模の被害を残した大雨災害から約1ヶ月の心境についてお話を伺いました。村内で起きた被害の

| 平年値と令和3年8月の降水量比較 |



〈出典〉平年値データは気象庁過去の気象データ(松本市今井)より抜粋
令和3年8月データは山形村気象情報システムより抽出

山際の安全を見直す機会に

上大池／女性

雨の勢いが強かった13日、主人が不在だったので私一人で家の裏や周辺の様子を見回り、水を誘導していました。山から流れてきた泥水で近くの池が溢れ、道路までザンザン流れていました。もしや、山が崩れたりして…と怖かったのですが、同じように池の様子を見に来た近所の方がたと話ができて、また消防団も見回りに来て下さり、とても心強く感じました。消防団員10名程が鋤簾で水を誘導する溝を掘ったり、要所に土嚢をたくさん置いて下さったこと、本当に有り難く、感謝の思いいっぱいで見送りました。ありがとうございました。今回の大雨で土石流に巻き込まれた岡谷市の親子を思うと、胸が痛いです。これを機に村の山際の地質の安全性を見直していただき、大災害で犠牲者を出さないための対策が必要なのでは…。



避難の大切さ、子どもたちに伝えたい

下竹田／女性

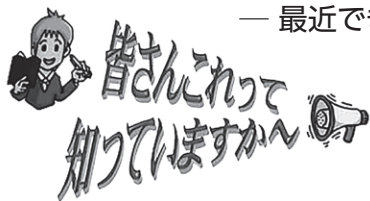
一人暮らしの義父が避難所にお世話になりました。14日の夕方、夫が義父に電話したところ、家の近くの川に大きな岩が流れてきたと言ったので、危険を感じて、避難所へ行くように何度も呼びかけました。義父も夫と話したことで、冷静に状況を判断して、避難に踏み切れたようでした。家は何事もなく済みましたが、あの時、安全な場所へ避難をしてもらって、本当に良かったと思っています。東日本大震災のあと、当時住んでいた青森県で、余震があるたびに幼い我が子を抱えて避難をしていました。絶対に安全という災害はないです。家族や自分の命を守るために避難することをためらわず、手助けが必要な人がいたら声をかけたり、普段から地域や周りの人たちと助け合うことを続けていこうと思います。

子どもたちにも親が真剣に防災に向き合う姿を見せていくことで防災への意識を育てていけたらいいなと思います。



今回の農作物被害や地盤の弱い場所で発生した土砂崩れ、住宅地への浸水などから、大雨の治水対策や山際の環境整備が望まれます。また、村民の皆さんのお話には、危機が迫った状況でも人と繋がることで、気持ちが落ち着いたり、避難行動などに結び付いた事例があり、お互いに声をかけ合うことの重要性を再確認できました。災害の影響を受けられた皆さまの生活の再建を願いながら、館報でもこの大雨災害の体験を風化させないため、防災に関する情報を発信し続けていきます。

— 最近できた新しい制度や話題となった出来事をご紹介します —



～お役立ち情報シリーズ～

オーストラリア生まれのナビゲーションスポーツ

ロゲイニング

近年、国内各所で行われ注目を浴びているスポーツ、ロゲイニング。耳にしたことがあるかもしれません。いったい、どういったスポーツなのでしょう…？



●ロゲイニングって、なに？

オーストラリア発祥のナビゲーションスポーツで、地図やリストに指定されたチェックポイントを巡り、決められた時間内でいかに多くの得点を獲得するか競います。

●オリエンテーリングとは違うの？

チェックポイントを回るスポーツとしてオリエンテーリングが有名ですが、ルールが少し違います。



① 参加形式の違い

オリエンテーリングは個人プレイとなり1人でコースを回りますが、ロゲイニングは2～5人のチームを作って競います。

② 順位のつけ方の違い

スタートからゴールまでの時間を競うわけではなく、チェックポイントを回って獲得した得点を競います。(遅刻は減点です…)

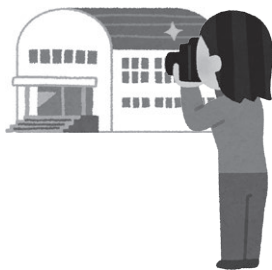
③ 回り方の違い

一般的なオリエンテーリングは、あらかじめ決められたチェックポイントを順番通りに回ってゴールまでのタイムを競います。これに対しロゲイニングは、事前に設定されたポイントを自由な順番で自由に回ります。また、チェックポイントごとに獲得出来る得点が違うため、高得点が得られるチェックポイントを重視して回る、行きやすそうなチェックポイントを数多く回るなど、作戦もチームによって変わるため、体を動かすだけでなく頭も使って回ります。



④ 通過点確認方法の違い

スタンプラリーの形式ではなく、現地で撮影した写真をチェックポイント到達の証とするケースが多いようです。SNSにアップするのも楽しいかも!?



楽しそうだなあと 思われた方は!!

新型コロナウイルスの影響により、今年も村民運動会が中止となってしまいました。そんな中、山形村公民館では、村民の皆さんに楽しんでいただけるイベントとしてロゲイニング大会を開催します。

【開催日時】令和3年10月10日(日) 午前9時から

【集合場所】トレーニングセンターグラウンド

【参加資格】山形村在住の同居家族2～5名でチームを構成して参加

【持ち物】SDカードが使えるデジタルカメラなど

【参加定員】40チーム(先着順)

【参加費用】無料

【申込締切】令和3年9月30日(木)

QRコードからも申込可→



◆申込・お問い合わせ

山形村公民館 ☎0263-98-3155

本木	籾町	藤沢	齋藤	村上	宮田	上條	上條	お
睦啓	かの系	芳正	風沙	玲泉	莉乃	真奈	咲夏	め
86歳	90歳	72歳	梨沙	克泉	尚華	奈勝	まどか	で
上大池	下大池	中大池	沙重	俊紀	幸絵	恵也	孝洋	た
			下竹田	下竹田	小坂	小坂	下竹田	子
								親



(敬称略)

⑨ 系車 続

村内の文化財などについてご紹介する「続・ミニ糸車」。第9号となる今回は、旧ふるさと伝承館に展示されていた資料の現在の様子をお伝えします。



伝承館閉館前の展示の様子



着物などの衣装類



農具などの民具

現在の所蔵資料の様子



老朽化のため、昨年度をもって閉館・解体された旧ふるさと伝承館。展示していた資料はどうなったの？というご質問をよくいただきます。かつて展示されていた資料は、現在、残らず全て村内某所に用意された仮の収蔵庫に収められています。収蔵庫の中では種類ごとにエリアを分けて、材質によっては処置（防錆処置など）を施したり、空調を調節したりしながら保管をしています。資料はそれぞれに特性を持っていますので、特に注意が必要なものについては特別な場所で管理をしています。また、ただ収蔵庫に保管するだけではなく、貴重な歴史資料を村民の皆さまにも見ていただけるよう、定期的な企画展示も計画しています。そのような機会には、ぜひ、会場へ足を運んでいただくと幸いです。



電子版QRコードを読み取ってください。



教育委員会では、旧ふるさと伝承館が役場庁舎として使われていた時代や、伝承館として資料を展示していた頃の様子をまとめた冊子『山形村役場・山形村ふるさと伝承館の記録』を昨年度作成しました。冊子では、昭和28年当時の建設工事や伝承館開館テープカットなどを映した貴重な写真と共にその歴史を振り返っています。村のホームページにて公開していますので、こちらもぜひチェックしてみてください。

みんなの人権 ⑨⑩

“WE HAVE WINGS(私たちには翼がある)”

～2020東京パラリンピックに見る「多様性」の奥深さと「共生社会」への課題

「パラリンピックの起源や長野パラリンピックの詳しいことは「優の風景」(参照) (令和3年9月M・H記)

◆新型コロナウィルスの感染拡大に歯止めがかからず、原則無観客という異例の形で実施された2020東京パラリンピック。開催そのものに複雑な気持ちを抱きながらも、TVの実況中継に目をやれば、パラアスリートたちの鍛えられた技と力について魅了され、明日への元気をもらっている自分がいきました。◆パラ大会開会式のコンセプトは「WE HAVE WINGS(私たちには翼がある)」。会場一杯に練り広げられたパフォーマンスは、逆風に立ち向かい、翼を広げるパラアスリートをイメージしたものでか。周囲の人びとに励まされ支えられて羽ばたいていく「片翼の少女」を演じたのは、13歳の和合由依さん。◆競泳女子100m・50m背泳ぎで銀メダルに輝いたのも、同じく中学生14歳の山田美幸選手。生まれつき両腕がなく両脚の長さも違う、重い障害のある彼女。きついトレーニングで鍛えられた彼女の、力強く水を蹴る泳ぎ。一緒に観戦していた、水泳教室に通い始めたばかりの小1のわが孫は、「すごい！すごい！」の連発。◆初めて目にする種目も増え、多様なハンディを、様々な補助具や介助スタッフの支援のもと活躍するパラアスリートたち。パラリンピックのルーツは、戦争で負傷した兵士のリハビリのために、イギリスで始められた競技会。そこでの「失ったものを数えるな。残されたものを最大限生かせ。」という理念を、日本に根付かせた先達は中村裕医師。そして、1998年の長野冬季パラリンピック大会では、障害者スキー部門で、当時白馬高校生の丸山直也選手が大活躍。彼は、翌年夏の甲子園高校野球大会の始球式に、短パンに義足姿で登場して、「共に生きる」意味を世に問うてくれました。それから20年。2020東京パラリンピックで示された「多様性と調和」の広がりとその奥深さ。◆他方で、足元をはじめ、頻発する自然災害や「格差と断絶」の深化など、さまざまな課題に苦しんでいる現実。そして、「いのちを守る些で踏ん張ってくれる医療従事者など、多方面に大きな犠牲を強いながら強行されたこの大会。「共生社会」とか「ユニバーサル社会」といったことの複雑さと難しさを改めて浮き彫りにした東京パラ大会。誰もが「生きやすい社会」の有り様を巡って、私たちに重たい課題を提起した大会となりました。





ずっと笑顔で いたいから…

ひらの
平野
まさはる
正春さん
たまえ
珠恵さん(清水高原)



今年7月に神奈川県から山形村へ移住された正春さん、珠恵さんご夫婦。居を構えた清水高原別荘地にあるログハウスは31年前に建てたもので、2年前まで月に1度のペースで訪れていました。

正春さんは会社勤めの傍ら、長年横浜市のボランティア活動に携わり、地域の親同士で繋がりがながら学童保育の運営や青少年指導員として献身的に活動していたそう。一方、穏やかな優しい雰囲気珠恵さんは、裁縫が趣味で、定年後に始めたという日本刺繍は圧巻の腕前。繊細で根気強さが求められる針目から、しなやかな芯の強さが感じられる奥様です。

同じ職場で知り合い、結婚して45年。子どもたちも巣立ち、孫の成長を喜ぶ日常の中で、1度きりの人生だからと荷物を全部片付け、清水高原で本格的な生活を始めたお二人。今までやりたかったログハウスの階段を直したり、周辺の雑木の整備やきれいな野草があると摘んで花瓶に生けたりと自分たちの時間を味わっています。「花を育てたり、樹や草花、キノコのことも覚えたい」。そう話す正春さんに今日まで共に歩んだ奥様への言葉をお願いすると「やっぱり、ずっと笑顔でいたいから」。恥ずかしそうに話す夫に向かって、優しく微笑みを返す珠恵さんでした。

やまがた Smile

今月のテーマ **かけがえのないもの**

～やまがたsmileへの情報提供募集中～
何気ない日常の中で感じたことやちょっと聞いてほしいことなどを教えてください。村民の皆さんが気軽に参加できるコーナーです！

例) 特技、自慢のお宝、思い出の品、ペット紹介、珍しい資格、お気に入りの場所、サークル紹介、秘伝のレシピ など

入力フォーム 右下のQRコードを読み取ってください。

メール 下記アドレスへメール送信してください。
kanpou@vill.yamagata.nagano.jp

電話 ☎0263-98-3155(山形村公民館)



宝という文字には比喩的に「かけがえのない人」と定義されています。その定義を前提とすると、私の宝は妻と娘です。宝物ではなく、宝者ですね。昨年10月に家族が増え、未だ苦労は絶えませんが、今までの人生で最高の充実を感じています。

私一人でこの充実を得ることはできません。妻への感謝・フォローを忘れずに私も子育てを楽しんでいます。また、人間は欲深いもので、娘の今後の成長した姿を見たいと生にしがみつくと自分を知ることができました。コロナが落ち着いたら娘にいろいろな世界を見せてあげるのが目標となっています。

あかはね けいすけ
赤羽 圭介さん
(下竹田)

① 私の相棒
自転車は「人力」で進む最速の道具と言われています。思い返せば、小学生で自転車に乗って以来、スピードにすっかりとらわれてしまいました。漕がなければ進まない、人間の人生を連想させるアナログなところもとても好きです。素敵な景色を眺め、風を感じて走っていると走った時間・距離を忘れてしまいます。この自転車への集中力、勉強に生かすことができたならと最近よく考えてしまいます。



② 私の宝者

宝という文字には比喩的に「かけがえのない人」と定義されています。その定義を前提とすると、私の宝は妻と娘です。宝物ではなく、宝者ですね。昨年10月に家族が増え、未だ苦労は絶えませんが、今までの人生で最高の充実を感じています。

私一人でこの充実を得ることはできません。妻への感謝・フォローを忘れずに私も子育てを楽しんでいます。また、人間は欲深いもので、娘の今後の成長した姿を見たいと生にしがみつくと自分を知ることができました。コロナが落ち着いたら娘にいろいろな世界を見せてあげるのが目標となっています。

山形村公民館報『館報やまがた』No.785 9月号 令和3年9月発行
編集と発行／長野県東筑摩郡山形村公民館 印刷／カシヨ株式会社

館報やまがたのバックナンバーは村のホームページ(こちらのQRコードから)でも見ることができます→

